

平成 21 年度上半期相談状況

高知県立消費生活センター

(1) 相談件数は平成 16 年度の 12,627 件をピークとしてその後減少傾向

①架空請求・不当請求の減少

内容の周知や警察の取り締まり

②フリーローン・サラ金の相談が 19 年度をピークとして減少

多重債務相談マニュアルによる相談対応 (H19 年 9 月 10 日) によりある程度債務整理が進展

③市町村の相談対応強化

多重債務等の研修をセンターで開催 (平成 19~20 年度)

市町村ホットライン開設 (平成 20 年度~) 197 件

市町村支援相談員の配置 (平成 21 年度~1 月 19 日まで) 156 件

④法改正等による規制の強化により訪問販売減少

・特定商取引法・割賦販売法の改正

年度	サラ金・フリーローン相談件数	法律専門家に繋いだ件数 (センター) 19年度は9月10日~	法律専門家に繋いだ件数 (市町村)	架空請求・不当請求の件数	訪問販売件数
19	1,472	368	41	1,598	513
20	1,380	505	240	1,100	501
21 (上半期)	462	144	125	434	184

(2) 相談内容の多様化・複雑化

①携帯電話やインターネット関連の相談増加

・学生からの相談が増加

・出会い系サイトやアダルトサイトの相談増加

②儲け話の増加

・未公開株や出資話等の利殖商法

・パチンコ攻略法

・海外宝くじ

(3) 課題

人材の育成と相談の掘り起こし

・業務としての見守り・・・地域包括支援センター、社会福祉協議会、教職員等

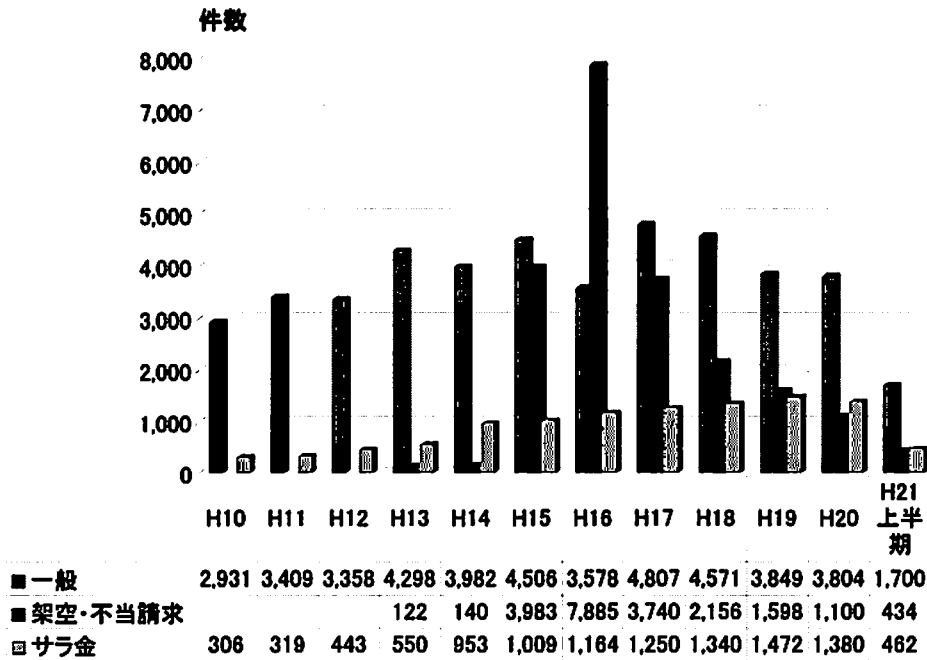
・地域住民の見守り・・・消費生活リーダーの養成

年度別相談件数の推移

高知県立消費生活センター

年度	一般	架空・不当請求	サラ金	合計
H10	2,931		306	3,237
H11	3,409		319	3,728
H12	3,358		443	3,801
H13	4,298	122	550	4,970
H14	3,982	140	953	5,075
H15	4,506	3,983	1,009	9,498
H16	3,578	7,885	1,164	12,627
H17	4,807	3,740	1,250	9,797
H18	4,571	2,156	1,340	8,067
H19	3,849	1,598	1,472	6,919
H20	3,804	1,100	1,380	6,284
H21上半期	1,700	434	462	2,596

年度別相談件数の推移



県及び市町村窓口寄せられた相談件数の推移

